

科目名	法社会学	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	法律 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	法社会学は、「法」とそれが作動している「社会」の相互作用を、法的紛争の当事者や法による審判者ではなく第三者の目で観察する科学である。本講義は法社会学の入門科目である。受講生は、法社会学の見方・考え方を学ぶと共に、法律科目で学ぶ「裁判と判例」が社会の紛争処理過程のごく一部に過ぎないことを知り、それでも大学で「法」を学ぶことの意味を問い直すことになる。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・法社会学における法の概念を理解できる。 ・民事司法過程/刑事司法過程/行政過程における法と社会の相互作用を理解できる。 ・具体例を通して、法をつくり法を活かす感覚を理解できる。 ・適切な資料・データの探索と分析・整理、及び文章化ができる。
授業計画	(1) インTRODクシヨンー法社会学とは/授業の進め方 (2) 法社会学における法の概念 (テキスト第1章) (3) 法専門職その1 (テキスト第2章第1節) (4) 法専門職その2 (テキスト第2章第3・4節) (5) 民事司法過程その1 (テキスト第3章第1・2節) (6) 民事司法過程その2 (テキスト第3章第3節) (7) 民事司法過程その3 (テキスト第3章第5節) (8) 刑事司法過程その1 (テキスト第4章第1・2節) (9) 刑事司法過程その2 (テキスト第4章第4節) (10) 刑事司法過程その3 (テキスト第4章第5節) (11) 行政過程その1 (テキスト第5章第1・2節) (12) 行政過程その2 (テキスト第5章第3・4節) (13) 日本の法と社会その1 (テキスト第6章第1節) (14) 日本の法と社会その2 (テキスト第6章第2節) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	教科書・参考文献の指定部分を、必ず事前に読んでおくこと。
	事後学習	不定期に授業冒頭で復習小クイズを行うので、復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】村山眞維・濱野亮『法社会学第2版』有斐閣, 2012年 ISBN 9784641124769 【参】宮澤節生他『ブリッジブック法システム入門ー法社会的アプローチ[第2版]』信山社, 2011. ISBN 9784797223347 浜田寿美男『自白の心理学』岩波新書, 2001. 浜井浩一『2円で刑務所、5億で執行猶予』光文社新書, 2009.	
成績評価方法と基準	<方法>単位レポート80% (添削を受け、再提出する) / 課題遂行20% <基準>科目の目標到達を重視する。到達していない者は不合格となる。	
備考	講義だけでなく、資料探索と整理等の課題を組んでいる。	